

〈実践例1-①〉

地域の人との連携による活動 「わくわく田んぼ」

〔対象〕 3～5歳児

中心となる領域	0歳	1歳～2歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
自ら気付いて考える資質・能力 【遊び育つ】						
人間関係 環境	身の回りのものに親しみ、様々なものに興味・関心を持つ 見る、触れる、探索するなどを通して、自分で関わろうとする	季節の行事などに興味や関心を持つ	生活に関係の深い情報や施設などに興味を持ち、友達と情報交換する	地域の催しや出来事に興味を持つ 地域の人々と関わる	地域の催しや出来事に参加する 公共施設を利用する 多様な文化伝統に親しむ	社会生活との関わり
		身近な動植物に気付き親しむ	季節の変化に気付く 自然の美しさ、不思議さに気付く	身近な自然事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする	自然との関わり・生命尊重
		探索活動を通して物の性質や仕組みに気付き、探究心が芽生える	探索活動を通して物の性質や仕組みを知り、活用する	身近にあるものや遊具、用具を使って工夫して遊ぶ	比べたり、関連付けたりしながら、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	思考力の芽生え
		形、色、大きさなどに気付く	生活の中で文字や数量、形に対して必要感や関心を持つ	生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生活の中で数量や図形などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	数量・図形・文字等への関心・感覚
自他を大切にし協働する資質・能力 【関わりながら】						
健康 人間関係	情緒的な関わりの中で、自分を肯定する気持ちが生える	保育者等の仲介を通して、できないこと等に対して折り合いをつける	友達とのやり取りの中で、友達の立場になって考えようとする	よいことや悪いことがあることに気付く	決まりの大切さに気付き、守ろうとする	道徳性・規範意識の芽生え
		保育者等をまね、友達と関わる際の適切な行動や言い方を身に付ける	友達と喜びや悲しみを共感しあう	友達によさに気付き、一緒に活動したり楽しさを味わう	友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする	協同性
		身近な人と共に過ごす喜びを感じる	安定した関係の中で共に過ごす	生活習慣活動を自分で必要性を確認し行動する	遊び込んで物事をやり遂げようとする気持ちを持つ	自分で考え、自分で行動する
人間関係 言葉	身近な人との応答を通して、やり取りを楽しむ	応答的な関わりや模倣で次第に言葉を身に付ける	保育者や友達の言葉に関心を持ち、聞いたり話したりする	人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す	自分が感じたこと、考えたことをまとめて話す	言葉による伝え合い
		挨拶をする	絵本や物語に親しむ	生活の中で言葉の楽しさ、美しさに気付く	分からないことを尋ねる文字などで伝える楽しさを味わう	
心と体を動かせる資質・能力 【いきいきと】						
表現 健康	身近なものに関わり感性が育つ はう、立つなど体を動かす 生活に関する心地よさを感じる	全身で感覚を楽しむ リズムを楽しむ	音楽に親しみ、歌ったりリズム楽器を楽しんだりする 製作物を遊びに使ったりする	感じたこと、考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたり作ったりする	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しさを味わう	豊かな感性と表現
		走る・跳ぶ等全身を動かす 基本的な生活習慣に興味・関心を持ち自分でしてみようとする	戸外で十分に体を動かす 健康な生活リズムを身に付ける	運動を楽しむ(でんぐりがえり、けんけん、スキップ等) 健康に関心を持つ	運動ゲームを楽しむ 見通しを持って行動する 安全に気を付けて行動する	健康な心と体
保護者・保育者等の情緒的な関わり・養護 【安心・安全】						

〈実践例1-②〉

神話を通じた活動 「やまたのおろち」

〔対象〕5歳児

中心となる領域	0歳	1歳～2歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
自ら気付いて考える資質・能力 【遊び育つ】						
人間関係 環境	身の回りのものに親しみ、様々なものに興味・関心を持つ 見る、触れる、探索するなどを通して、自分で関わろうとする	季節の行事などに興味や関心を持つ	生活に関係の深い情報や施設などに興味を持ち、友達と情報交換する	地域の催しや出来事に興味を持つ 地域の人々と関わる	地域の催しや出来事に参加する 公共施設を利用する 多様な文化伝統に親しむ	社会生活との関わり
		身近な動植物に気付き親しむ	季節の変化に気付く 自然の美しさ、不思議さに気付く	身近な自然事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする	自然との関わり・生命尊重
		探索活動を通して物の性質や仕組みに気付き、探究心が芽生える	探索活動を通して物の性質や仕組みを知り、活用する	身近にあるものや遊具、用具を使って工夫して遊ぶ	比べたり、関連付けたりしながら、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	思考力の芽生え
		形、色、大きさなどに気付く	生活の中で文字や数量、形に対して必要感や関心を持つ	生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生活の中で数量や図形などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	数量・図形・文字等への関心・感覚
自他を大切にし協働する資質・能力 【関わりながら】						
健康 人間関係	情緒的な関わりの中で、自分を肯定する気持ちが生える	保育者等の仲介を通して、できないこと等に対して折り合いをつける	友達とのやり取りの中で、友達の立場になって考えようとする	よいことや悪いことがあることに気付く	決まりの大切さに気付き、守ろうとする	道徳性・規範意識の芽生え
		保育者等をまね、友達と関わる際の適切な行動や言い方を身に付ける	友達と喜びや悲しみを共感しあう	友達のよさに気付き、一緒に活動したり楽しさを味わう	友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする	協同性
		身近な人と共に過ごす喜びを感じる	安定した関係の中で共に過ごす	生活習慣活動を自分で必要性を確認し行動する	遊び込んで物事をやり遂げようとする気持ちを持つ	自分で考え、自分で行動する
人間関係 言葉	身近な人との応答を通して、やり取りを楽しむ	応答的な関わりや模倣で次第に言葉を身に付ける	保育者や友達の言葉に関心を持ち、聞いたり話したりする	人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す	自分が感じたこと、考えたことをまとめて話す	言葉による伝え合い
		挨拶をする	絵本や物語に親しむ	生活の中で言葉の楽しさ、美しさに気付く	分からないことを尋ねる 文字などで伝える楽しさを味わう	
心と体を動かせる資質・能力 【いきいきと】						
表現 健康	身近なものに関わり感性が育つ はう、立つなど体を動かす 生活に関する心地よさを感じる	全身で感覚を楽しむ リズムを楽しむ	音楽に親しみ、歌ったりリズム楽器を楽しんだりする 製作物を遊びに使ったりする	感じたこと、考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたり作ったりする	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しさを味わう	豊かな感性と表現
		走る・跳ぶ等全身を動かす 基本的な生活習慣に興味・関心を持ち自分でしてみようとする	戸外で十分に体を動かす 健康な生活リズムを身に付ける	運動を楽しむ（でんぐりがえり、けんけん、スキップなど） 健康に関心を持つ	運動ゲームを楽しむ 見通しを持って行動する 安全に気を付けて行動する	健康な心と体
保護者・保育者等の情緒的な関わり・養護 【安心・安全】						

〈実践例1-③〉

3～5歳のグループでの活動 「もくもくの日」

〔対象〕3～5歳児

中心となる領域	0歳	1歳～2歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
自ら気付いて考える資質・能力 【遊び育つ】						
人間関係 環境	身の回りのものに親しみ、様々なものに興味・関心を持つ 見る、触れる、探索するなどを通して、自分で関わろうとする	季節の行事などに興味や関心を持つ	生活に関係の深い情報や施設などに興味を持ち、友達と情報交換する	地域の催しや出来事に興味を持つ 地域の人々と関わる	地域の催しや出来事に参加する 公共施設を利用する 多様な文化伝統に親しむ	社会生活との関わり
		身近な動植物に気付き親しむ	季節の変化に気付く 自然の美しさ、不思議さに気付く	身近な自然事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする	自然との関わり・生命尊重
		探索活動を通して物の性質や仕組みに気付き、探究心が芽生える	探索活動を通して物の性質や仕組みを知り、活用する	身近にあるものや遊具、用具を使って工夫して遊ぶ	比べたり、関連付けたりしながら、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	思考力の芽生え
		形、色、大きさなどに気付く	生活の中で文字や数量、形に対して必要感や関心を持つ	生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生活の中で数量や図形などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	数量・図形・文字等への関心・感覚
自他を大切にし協働する資質・能力 【関わりながら】						
健康 人間関係	情緒的な関わりの中で、自分を肯定する気持ちが生える	保育者等の仲介を通して、できないこと等に対して折り合いをつける	友達とのやり取りの中で、友達の立場になって考えようとする	よいことや悪いことがあることに気付く	決まりの大切さに気付き、守ろうとする	道徳性・規範意識の芽生え
		保育者等をまね、友達と関わる際の適切な行動や言い方を身に付ける	友達と喜びや悲しみを共感しあう	友達によさに気付き、一緒に活動したり楽しさを味わう	友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする	協同性
人間関係 言葉	身近な人と共に過ごす喜びを感じる 身近な人との応答を通して、やり取りを楽しむ	安定した関係の中で共に過ごす	生活習慣活動を自分で必要性を確認し行動する	遊び込んで物事をやり遂げようとする気持ちを持つ	自分で考え、自分で行動する 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く	自立心
		応答的な関わりや模倣で次第に言葉を身に付ける 挨拶をする	保育者や友達の言葉に関心を持ち、聞いたり話したりする 絵本や物語に親しむ	人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す 生活の中で言葉の楽しさ、美しさに気付く	自分が感じたこと、考えたことをまとめて話す 分からないことを尋ねる文字などで伝える楽しさを味わう	言葉による伝え合い
心と体を動かせる資質・能力 【いきいきと】						
表現 健康	身近なものに関わり感性が育つ はう、立つなど体を動かす 生活に関する心地よさを感じる	全身で感覚を楽しむ リズムを楽しむ	音楽に親しみ、歌ったりリズム楽器を楽しんだりする 製作物を遊びに使ったりする	感じたこと、考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたり作ったりする	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しさを味わう	豊かな感性と表現
		走る・跳ぶ等全身を動かす 基本的な生活習慣に興味・関心を持ち自分でしてみようとする	戸外で十分に体を動かす 健康な生活リズムを身に付ける	運動を楽しむ(でんぐりがえり、けんけん、スキップ等) 健康に関心を持つ	運動ゲームを楽しむ 見通しを持って行動する 安全に気を付けて行動する	健康な心と体
保護者・保育者等の情緒的な関わり・養護 【安心・安全】						

〈実践例1-④〉

施設の高齢者との交流活動

〔対象〕4、5歳児

中心となる領域	0歳	1歳～2歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
自ら気付いて考える資質・能力 【遊び育つ】						
人間関係 環境	身の回りのものに親しみ、様々なものに興味・関心を持つ 見る、触れる、探索するなどを通して、自分で関わろうとする	季節の行事などに興味や関心を持つ	生活に関係の深い情報や施設などに興味を持ち、友達と情報交換する	地域の催しや出来事に興味を持つ 地域の人々と関わる	地域の催しや出来事に参加する 公共施設を利用する 多様な文化伝統に親しむ	社会生活との関わり
		身近な動植物に気付き親しむ	季節の変化に気付く 自然の美しさ、不思議さに気付く	身近な自然事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする	自然との関わり・生命尊重
		探索活動を通して物の性質や仕組みに気付き、探究心が芽生える	探索活動を通して物の性質や仕組みを知り、活用する	身近にあるものや遊具、用具を使って工夫して遊ぶ	比べたり、関連付けたりしながら、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	思考力の芽生え
		形、色、大きさなどに気付く	生活の中で文字や数量、形に対して必要感や関心を持つ	生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生活の中で数量や図形などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	数量・図形・文字等への関心・感覚
自他を大切にし協働する資質・能力 【関わりながら】						
健康 人間関係	情緒的な関わりの中で、自分を肯定する気持ちが生える	保育者等の仲介を通して、できないこと等に対して折り合いをつける	友達とのやり取りの中で、友達の立場になって考えようとする	よいことや悪いことがあることに気付く	決まりの大切さに気付き、守ろうとする	道徳性・規範意識の芽生え
		保育者等をまね、友達と関わる際の適切な行動や言い方を身に付ける	友達と喜びや悲しみを共感しあう	友達のよさに気付き、一緒に活動したり楽しさを味わう	友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする	協同性
人間関係 言葉	身近な人と共に過ごす喜びを感じる 身近な人との応答を通して、やり取りを楽しむ	安定した関係の中で共に過ごす	生活習慣活動を自分で必要性を確認し行動する	遊び込んで物事をやり遂げようとする気持ちを持つ	自分で考え、自分で行動する 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く	自立心
		応答的な関わりや模倣で次第に言葉を身に付ける	保育者や友達の言葉に関心を持ち、聞いたり話したりする	人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す	自分が感じたこと、考えたことをまとめて話す	言葉による伝え合い
		挨拶をする	絵本や物語に親しむ	生活の中で言葉の楽しさ、美しさに気付く	分からないことを尋ねる文字などで伝える楽しさを味わう	
心と体を動かせる資質・能力 【いきいきと】						
表現 健康	身近なものに関わり感性が育つ はう、立つなど体を動かす 生活に関する心地よさを感じる	全身で感覚を楽しむ リズムを楽しむ	音楽に親しみ、歌ったりリズム楽器を楽しんだりする 製作物を遊びに使ったりする	感じたこと、考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたり作ったりする	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しさを味わう	豊かな感性と表現
		走る・跳ぶ等全身を動かす 基本的な生活習慣に興味・関心を持ち自分でしてみようとする	戸外で十分に体を動かす 健康な生活リズムを身に付ける	運動を楽しむ（でんぐりがえり、けんけん、スキップ等） 健康に関心を持つ	運動ゲームを楽しむ 見通しを持って行動する 安全に気を付けて行動する	健康な心と体
保護者・保育者等の情緒的な関わり・養護 【安心・安全】						

〈実践例1-⑥〉

複数の幼児教育施設と小学校との交流活動

〔対象〕 5歳児、1年生

中心となる領域	0歳	1歳～2歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
自ら気付いて考える資質・能力 【遊び育つ】						
人間関係 環境	身の回りのものに親しみ、様々なものに興味・関心を持つ	季節の行事などに興味や関心を持つ	生活に関係の深い情報や施設などに興味を持ち、友達と情報交換する	地域の催しや出来事に興味を持つ 地域の人々と関わる	地域の催しや出来事に参加する 公共施設を利用する 多様な文化伝統に親しむ	社会生活との関わり
		身近な動植物に気付き親しむ	季節の変化に気付く 自然の美しさ、不思議さに気付く	身近な自然事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする	自然との関わり・生命尊重
	見る、触れる、探索するなどを通して、自分で関わろうとする	探索活動を通して物の性質や仕組みに気付き、探究心が芽生える	探索活動を通して物の性質や仕組みを知り、活用する	身近にあるものや遊具、用具を使って工夫して遊ぶ	比べたり、関連付けたりしながら、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	思考力の芽生え
		形、色、大きさなどに気付く	生活の中で文字や数量、形に対して必要感や関心を持つ	生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生活の中で数量や図形などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	数量・図形・文字等への関心・感覚
自他を大切にし協働する資質・能力 【関わりながら】						
健康 人間関係	情緒的な関わりの中で、自分を肯定する気持ちが生える	保育者等の仲介を通して、できないこと等に対して折り合いをつける	友達とのやり取りの中で、友達の立場になって考えようとする	よいことや悪いことがあることに気付く	決まりの大切さに気付き、守ろうとする	道徳性・規範意識の芽生え
		保育者等をまね、友達と関わる際の適切な行動や言い方を身に付ける	友達と喜びや悲しみを共感しあう	友達よさに気付き、一緒に活動したり楽しさを味わう	友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする	協同性
	身近な人と共に過ごす喜びを感じる	安定した関係の中で共に過ごす	生活習慣活動を自分で必要性を確認し行動する	遊び込んで物事をやり遂げようとする気持ちを持つ	自分で考え、自分で行動する 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く	自立心
人間関係 言葉	身近な人との応答を通して、やり取りを楽しむ	応答的な関わりや模倣で次第に言葉を身に付ける	保育者や友達の言葉に関心を持ち、聞いたり話したりする	人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す	自分が感じたこと、考えたことをまとめて話す	言葉による伝え合い
	挨拶をする	絵本や物語に親しむ	生活の中で言葉の楽しさ、美しさに気付く	分からないことを尋ねる文字などで伝える楽しさを味わう		
心と体を動かせる資質・能力 【いきいきと】						
表現 健康	身近なものに関わり感性が育つ	全身で感覚を楽しむ リズムを楽しむ	音楽に親しみ、歌ったりリズム楽器を楽しんだりする 製作物を遊びに使ったりする	感じたこと、考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたり作ったりする	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しさを味わう	豊かな感性と表現
	はう、立つなど体を動かす 生活に関する心地よさを感じる	走る・跳ぶ等全身を動かす 基本的な生活習慣に興味・関心を持ち自分でしてみようとする	戸外で十分に体を動かす 健康な生活リズムを身に付ける	運動を楽しむ（でんぐりがえり、けんけん、スキップ等） 健康に関心を持つ	運動ゲームを楽しむ 見通しを持って行動する 安全に気を付けて行動する	健康な心と体
保護者・保育者等の情緒的な関わり・養護 【安心・安全】						

〈実践例1-⑦〉

小学校との川遊びによる交流活動

〔対象〕5歳児、1年生

中心となる領域	0歳	1歳～2歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
自ら気付いて考える資質・能力 【遊び育つ】						
人間関係 環境	身の回りのものに親しみ、様々なものに興味・関心を持つ 見る、触れる、探索するなどを通して、自分で関わろうとする	季節の行事などに興味や関心を持つ	生活に関係の深い情報や施設などに興味を持ち、友達と情報交換する	地域の催しや出来事に興味を持つ 地域の人々と関わる	地域の催しや出来事に参加する 公共施設を利用する 多様な文化伝統に親しむ	社会生活との関わり
		身近な動植物に気付き親しむ	季節の変化に気付く 自然の美しさ、不思議さに気付く	身近な自然事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする	自然との関わり・生命尊重
		探索活動を通して物の性質や仕組みに気付き、探究心が芽生える	探索活動を通して物の性質や仕組みを知り、活用する	身近にあるものや遊具、用具を使って工夫して遊ぶ	比べたり、関連付けたりしながら、考えたり、試したり工夫して遊ぶ	思考力の芽生え
		形、色、大きさなどに気付く	生活の中で文字や数量、形に対して必要感や関心を持つ	生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	生活の中で数量や図形などに関心を持ち、取り入れて遊ぶ	数量・図形・文字等への関心・感覚
自他を大切にし協働する資質・能力 【関わりながら】						
健康 人間関係	情緒的な関わりの中で、自分を肯定する気持ちが生える	保育者等の仲介を通して、できないこと等に対して折り合いをつける	友達とのやり取りの中で、友達の立場になって考えようとする	よいことや悪いことがあることに気付く	決まりの大切さに気付き、守ろうとする	道徳性・規範意識の芽生え
		保育者等をまね、友達と関わる際の適切な行動や言い方を身に付ける	友達と喜びや悲しみを共感しあう	友達によさに気付き、一緒に活動したり楽しさを味わう	友達と共通の目的を見だし、工夫したり協力したりする	協同性
		身近な人と共に過ごす喜びを感じる	安定した関係の中で共に過ごす	生活習慣活動を自分で必要性を確認し行動する	遊び込んで物事をやり遂げようとする気持ちを持つ	自分で考え、自分で行動する 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く
人間関係 言葉	身近な人との応答を通して、やり取りを楽しむ	応答的な関わりや模倣で次第に言葉を身に付ける	保育者や友達の言葉に関心を持ち、聞いたり話したりする	人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す	自分が感じたこと、考えたことをまとめて話す	言葉による伝え合い
		挨拶をする	絵本や物語に親しむ	生活の中で言葉の楽しさ、美しさに気付く	分からないことを尋ねる 文字などで伝える楽しさを味わう	
心と体を動かせる資質・能力 【いきいきと】						
表現 健康	身近なものに関わり感性が育つ はう、立つなど体を動かす 生活に関する心地よさを感じる	全身で感覚を楽しむ リズムを楽しむ	音楽に親しみ、歌ったりリズム楽器を楽しんだりする 製作物を遊びに使ったりする	感じたこと、考えたことを、音や動きなどで表現したり、自由にかいたり作ったりする	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しさを味わう	豊かな感性と表現
		走る・跳ぶ等全身を動かす 基本的な生活習慣に興味・関心を持ち自分でしてみようとする	戸外で十分に体を動かす 健康な生活リズムを身に付ける	運動を楽しむ(でんぐりがえり、けんけん、スキップ等) 健康に関心を持つ	運動ゲームを楽しむ 見通しを持って行動する 安全に気を付けて行動する	健康な心と体
保護者・保育者等の情緒的な関わり・養護 【安心・安全】						